

令和4年度事業計画書

自 令和4年（2022年）4月1日

至 令和5年（2023年）3月31日

事業活動基本方針

熊谷法人会は、昨年度に続き「税のオピニオンリーダー」として、租税教育を通して広域的な交流、地域への社会貢献を行い、「元気な企業経営者」をサポートする、2市1町の「良き経営者を目指すものの団体」である。企業経営の中で重要なウエイトを占める「税」に対して正しい知識を得る為の研修・研鑽の場を提供すると共に広域的な組織力を活かし会員同士の交流・情報交換・親睦を図り、「支部が主役」の役に立つ法人会を目指し、会員企業の発展に寄与して参ります。特に、「ウィズコロナ」・「アフターコロナ」といった社会の変化を的確に捉え、会員の皆様に寄り添った事業活動、会員サービスの実現を基本方針として活動して参ります。

事業計画

1. 総務関係

- ①コロナ禍における、Web会議等、早期に環境整備及び実施に向けて体制づくりを行なう。
- ②法人会のパソコン・スマートフォンのホームページの有効活用。
- ③e-Tax、e-L-TAXの利便性、有用性を啓発し、活用の推進を図る。
 - パソコン操作の習得を目的に、パソコンセミナーを開催する
 - e-Tax、e-L-TAXについて、会報等で周知徹底する
 - 役員企業の利用率向上を図る（利用率100%達成を目標）
 - 関係機関との協調による共同推進
- ④公益目的事業比率の堅持。
- ⑤業務のデジタル化やカーボンニュートラルへの対応等、法人会として出来ることから実践する→データのペーパーレス化。
- ⑥三者懇談会、三団体女性部会打合せ会等の再開。

2. 組織関係

- ・会員増強と福利厚生制度は法人会の車の両輪であり、組織委員会と厚生委員会合同での会員増強施策や50周年キャンペーンの積極的な展開を行なうほか、協力3社の協業や商品の相互販売を進め推進の拡大と各社独自の施策に協力をする。
- ①組織・厚生合同委員会の開催による、会員増強の推進。
 - ②組織基盤の充実、拡大と財政基盤の強化。
 - 会員増強運動の推進
 - 会員増強推進月間の実施
 - ③青年部会活動・女性部会活動による事業活動の充実と組織の強化。
 - 会員交流事業の開催

○会員増強運動の推進

○「健康経営PJ」の具体化及び推進・・・「健康経営宣言書」の提出依頼と「ウォーキングキャンペーン」をセットにして若手経営者の参加者の増加と登録者の推進。

④三者懇談会の実施（税務当局・税理士会・当会）による連携強化。

⑤「役員一人1社会員獲得運動1000」による会員増強。

○役員の紹介運動の実施（会長、組織委員長連名による紹介状の作成）

○新設法人先へのアプローチ

○金融団及び提携生損保、税理士会による組織委員会の開催

3. 研修関係

①各種税務研修会の実施（新設法人説明会、決算期別税務説明会、業種別税務研修会、相続・贈与税研修会、消費税のインボイス制度、支部の簿記講習会等）の研修を積極的に取り入れる。

②会員交流会、支部研修会・支部交流会を積極的に開催し、会員同士の交流を行なう。

（※新型コロナウイルス感染症対策を万全にして開催）

③視察研修会の実施

コロナ対策を万全に行い、国内外の企業・施設の視察研修会を実施。視察先の経営者、幹部又は視察地の法人会との交流を積極的に行ない見聞を広める。また、会員同士の交流を深める。

（※新型コロナウイルス感染症対策を万全にして実施）

④パソコン研修を開催（中級・上級・裏ワザ）の各コースを熊谷会場・深谷会場で開催。

⑤年末調整セミナーの開催。（関東信越税理士会熊谷支部の税理士に依頼）

⑥租税教育活動の実施（青年部会・女性部会）：2市1町の小学校6年生対象。

⑦税務相談会の開催。（熊谷商工会議所との共催）

⑧会員向け研修会・セミナー等をWeb研修として、積極的に推進。（経営者、幹部社員、営業・経理担当、新入社員等）

⑨高齢化社会に対応した「年金セミナー」の開催。

⑩コロナ禍での資金繰り・財務戦略をベースとした「垂統塾」への積極的な参画。

⑪役立つ小冊子の配布、最新版研修用DVDの購入。

⑫DVDの充実と利用促進、インターネット研修の促進。（オンデマンド研修の普及率の向上）

⑬「税を考える週間」行事として、特別講演会、税務署長による「租税教室」の開催。

⑭企業税務コンプライアンス向上に積極的に取り組む。

○自主点検チェックシートの活用推進と会員への周知徹底

○自主点検チェックシートの勉強会の実施（税務署と共催・DVDの利用）

4. 税制関係

（1）税制改正要望活動の実施

①全国大会への参加

税制改正に関する提言の発表の場であり、全国の法人会の代表が一堂に会し、相互の交流と研鑽を通じて、より一層の連携を深める全国大会に、代表者を派遣。研修の成果は役員会において共有するほか、広報誌により周知する。

税制改正については、幅広く会員から意見を吸収し、集約した上で全法連へ提言。

（令和5年度税制改正に関する提言事項も全会員を対象にアンケート実施、役員回収率100%必成）

更に全法連にてまとめられた「税制改正に関する提言」を、地元自治体や地元選出国會議員

に提示して税制改正要望活動を行う。

②全国青年の集い

全国の青年経営者が集い、税制、財政及び地域社会の健全な発展等法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行う。

特に、令和4年度は、「健康経営PJ」の具体化に向けた活動推進の為、積極的に参加、研修の成果は、役員会において共有して当該事業に反映するほか、広報誌で広く周知する。

③全国女性フォーラム

全国の女性経営者が集い、税制、財政及び地域社会の健全な発展等法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行う。今後の活動をより充実したものにするために代表者が参加。研修の成果は、役員会において共有して当該事業に反映するほか、広報誌で広く周知する。

④公益法人制度改革に対応し、非会員であってもホームページ上でインターネットを通じてアンケート調査に回答出来るようにする。

5. 社会貢献関係

《社会貢献活動》

①公益法人としての事業実施「第8回税に関する絵はがきコンクール」の実施（女性部会）。

②「りそなキッズマネーアカデミー」と連携した、小学生対象の租税教育活動の実施。

（青年部会）

③地域に密着した活動を通じて広く社会への貢献に積極的に取り組む。

地域イベントへの協賛。（経費の有効活用の観点から重点項目の絞り込み）

④管内2市1町で催す産業祭等に積極的に参加し、「税の資料や啓発品」等を配布し法人会のPRと啓発活動を実施する。（全法連が作成した租税教育用テキスト「キミも納めている！税金どこへ行くの？タックスフントとけんたくん」を配布及びイベント用ジャンパーの制作により、法人会の認知度をアップ）

⑤「さいたま緑のトラスト運動」への参加協力。

⑥エコキャップ回収運動の推進。（奇数月に各支部より回収）

⑦美化清掃活動の推進。

⑧「いちごプロジェクト」の推進による環境活動への取り組みを夏期・冬期実施。（女性部会）

6. 広報関係

①広報誌「法人くまがや」を年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月）発行し、税務署並びに地元税理士による税知識の習得と税に関する最新情報や関連情報を広報することにより、会員が円滑な申告納税制度の普及発展に寄与することを目的としている。

②情報誌「ほうじん」の配布。

③その他各種資料の斡旋及び配布。（会員に役に立つ冊子を会報に同封し、提供する）

④未加入法人に対し法人会活動の状況と会員のメリットをPR。

⑤法人会のイメージアップ・知名度向上を図る広報ツールの活用。

地元産業祭・公開講演会等に於いて、法人会のグッズ、チラシを配布。

⑥ホームページをスマートフォンからも閲覧可能とし、内容充実による法人会のPR強化と会員増強に繋げる。

⑦会員並びに関係諸団体との関係を結ぶ、密接で身近な「ツール」として、有意義な内容に編集。

⑧全法連「法人会アンケート調査システム」の登録推進。

7. 厚生関係（福利厚生制度の推進）

①経営者大型保障制度の普及推進

会員ニーズに即した商品を受託保険会社（大同生命・A I G・アフラック）との連携を一層強化しつつ、福利厚生制度の安定的な運営を目指した推進活動を行う。各保険会社の推進員と役員・事務局による帯同訪問の実施。

②若手経営者の企業へ、「健康経営宣言書」とセットで「福利厚生制度」を推進。

③提携生損保保険料収入の拡充・・・会員向けPRチラシを会報に封入する。

④「福利厚生制度創設50周年キャンペーン」を積極的に推進する。

・大同生命保険㈱・・・「会社みんなでKENKO+」

・A I G損害保険㈱・・・「ALL STARs」

・アフラック生命保険㈱・・・「アフラックのしっかり頼れる介護保険」

⑤生活習慣病予防検診事業（定期健康診断）の実施、PR活動の強化。（会員向けのチラシ配布）

⑥組織・厚生委員会合同による推進会議の開催。

⑦熊谷総合病院とのPET・CT検査について、会員向けに広報活動を行う。